一次研究用フォーム		データ記入欄		
基本情報	対象疾患	基底細胞癌		
	タイプ	医学専門情報		
タイトル情報	論文の英語タイトル	Treatment of carcinoma of the skin with bone and/or cartilage		
		involvement.		
	論文の日本語タイトル			
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)		
	ガイドライン上での目次名称	BCCCQ11-15		
		I. システマティック・レビュー/メタアナリシス		
		Ⅱ.1つ以上のランダム化比較試験		
		Ⅲ. 非ランダム化比較試験		
	研究デザイン	Ⅳ. 分析疫学的研究 (コホート研究や症例対照研究)		
		V. 記述研究(症例報告やケースシリーズ)		
		VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見		
		(IV)		
	Pubmed ID	3358361		
書誌情報	医中誌 ID			
	雑誌名	Am J Clin Oncol		
	雑誌 ID			
	巻	11		
	号			
	ページ	110-3		
	ISSN ナンバー			
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)		
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)		
	発行年月	1988年	그 는 사사 테	
	公司基 之	氏名	所属機関 南カリフォルニア大学	
著者情報	筆頭著者 その他著者 1	Petrovich Z Kuisk H	同上	
	その他著者 2	Langholz B	同上	
	その他著者3	Luxton G	同上	
	その他著者4	Petrovich M	同上	
	その他著者も	Chak L	同上	
	その他著者6	Rice D	同上	
	その他著者で		. 1	
	その他著者8			
	その他著者 9			
	その他著者 10			

一次研究の8項目	目的		皮膚癌の治療成績を検討する	
D(19) 71.00 (19) 1	研究デザイン	後ろ向きコホート研究		
	セッティング	南カリフォルニア大学		
	対象者	1956-1978年に頭頚部癌で治療された23例(骨や軟骨に浸		
		潤した局所進行期の皮膚癌) 9 例は既治療歴あり、残りはなし 基底細胞癌 14 例、扁平上皮癌 6 例 部位:鼻 8 例、耳介:7 例、眼瞼:5 例 骨浸潤例:7 例、軟骨浸潤例:17 例		
		5 cm 以上の腫瘍:13 例		
	対象者情報(国籍)	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず (3)		
	対象者情報(性別)	1.男性 2.女性 3.男女区別せず (3)		
	74371111111 (1234)	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児		
	対象者情報 (年齢)	7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年		
		9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年		
		11. 小児・青年・中高年 12. 小児・青年・中高年・老人		
		13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人		
		16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人		
		19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人		
		22.年齢区別せず (15)		
	介入(要因曝露)	放射線療法:14例、手術+放射線療法:9例		
		放射線療法		
		平均一回線量:3.2 Gy、総線量	: 35-70 Gv (平均 55 Gv)	
	エント゛ホ゜イント (アウトカム)	エンドポイント	区分	
	1	局所制御	1.主要 2.副次 3.その他 (3)	
	2	生存率	1.主要 2.副次 3.その他 (3)	
	3		1.主要 2.副次 3.その他 ()	
	4		1.主要 2.副次 3.その他 ()	
	5		1.主要 2.副次 3.その他 ()	
	6		1.主要 2.副次 3.その他 ()	
	7		1.主要 2.副次 3.その他 ()	
	8		1.主要 2.副次 3.その他 ()	
	9		1.主要 2.副次 3.その他 ()	
	10		1.主要 2.副次 3.その他 ()	
	主な結果	5 年局所制御率: 80%		
		14 例の基底細胞癌は全て制御された。		
		9 例の扁平上皮癌のうち、4 例は再発した。		
		↓ 骨や軟骨に浸潤した局所進行期の		
	 結論	において放射線療法は有用な治療オプションとなりうる。重篤な毒		
	य हा साम	性も見られなかった。		
		3/2 3 , 1 3 , 1 2 , 2 3		

	備考	
	レビューワー氏名	鹿間 直人
レビューワーコメント	レビューワーコメント	症例数は少ないが骨浸潤や軟骨浸潤をきたした進行期に対する放射 線療法を施行した貴重なデータ。 レベル IV